

母子保健：東京で奨励賞の表彰式 15人受賞

第32回母子保健奨励

主催：財団法人母子衛生研究会、母子保健に奨励賞
共催：財団法人母子衛生研究会、(財)家庭保健生活指導センター
後援：厚生労働省、全国衛生部長会、毎日新聞社、NHK、協賛：日本ケミカルリサーチ



第32回母子保健奨励賞の毎日新聞社賞を受賞した(左から)赤松邦子さん、恒松みゆきさん、内記敬子さん＝東京都文京区で2010年11月18日、久保玲撮影

母子保健の発展と向上に活躍した個人をたたえる第32回母子保健奨励賞(日本母子衛生助成会・母子保健功労顕彰会主催、母子衛生研究会・家庭保健生活指導センター協力、厚生労働省・全国衛生部長会・毎日新聞社・NHK後援、日本ケミカルリサーチ協賛)の表彰式が18日、東京都文京区の東京ガーデンパレスであった。同顕彰会の古川貞二郎会長から受賞者15人に表彰状が手渡された。

毎日新聞社賞を受賞した歯科衛生士、内記敬子さん(53)＝岩手県、写真右▽保育士、赤松邦子さん(51)＝奈良県、同左▽保健師、恒松みゆきさん(53)＝熊本県、同中央＝には、河野俊史毎日新聞編集局長から表彰状とブロンズ像が贈られた。受賞者を代表して内記さんは「日々自己研さんを積んでいく必要を痛感している」と語った。

受賞者はこの後、東宮御所(港区)を訪れ、皇太子さまからお祝いと励ましを受けた。40分間の懇談で、赤松さんから母親運営の母子サークルの話を聞いた皇太子さまは「自治体がやれないような細やかなことをなさっているのですね」と語ったという。